

# 山口宇部空港における 東京便利用状況調査

平成31年 2月

発注者：山口宇部空港利用促進振興会

調査者：一般財団法人山口経済研究所



## < 目次 >

1. 調査概要	1
2. 回答者属性	2
(1) 男女別、年代別	2
(2) 住所	2
(3) その他	5
3. 東京便の利用状況	6
(1) 利用目的	6
(2) 利用頻度	9
4. 便数、ダイヤについての意識	11
(1) 便数について	11
(2) 運航ダイヤについて	13
5. 新規就航希望路線	18
(1) 国内線	18
(2) 国際線	20
6. 利用交通手段	22
7. 空港駐車場について	26
(1) 混雑問題	26
(2) 必要な駐車場対策	28
(3) 駐車場有料化の際の料金	30
<調査票>	32

## 1. 調査概要

山口宇部空港の今後の利用促進のための基礎資料とするため、東京便の利用者（出発便搭乗者）にアンケート調査を実施した。

調査実施時期は、平成30年9月25日（火）～29日（土）の5日間。この間毎日、全便にわたって搭乗者に調査票を配布し、その場で、もしくは郵送で回収した。この間の搭乗者数7,987人に対して回収したサンプル数は2,603であり、搭乗者に占める比率は32.6%となった。

便名別・回収サンプル数

	便名	発時刻	n	回収率
①	JAL290	7:45	126	20.3
②	ANA692	7:40	249	23.8
③	SF12/ANA3812	9:40	278	38.6
④	JAL292	10:30	241	33.2
⑤	ANA696	12:50	326	37.4
⑥	JAL294	14:25	211	37.7
⑦	SF14/ANA3814	15:05	294	42.8
⑧	ANA700	17:30	376	29.9
⑨	JAL296	19:10	219	27.5
⑩	SF16/ANA3816	20:05	277	39.6
	搭乗便名無回答		6	-
	サンプル合計		2,603	32.6

※ここでの回収率は、実際の搭乗者数に占める比率

※郵送回答のサンプルの中に、便名について無回答のものがあった

アンケート実施期間中の「山口宇部⇒東京」便 利用者数

	9/25	9/26	9/27	9/28	9/29	5日間計
JAL290	162	100	137	108	114	621
ANA692	217	166	189	238	238	1,048
SF12/ANA3812	147	148	139	143	144	721
JAL292	165	159	95	148	158	725
ANA696	240	153	118	161	200	872
JAL294	150	91	109	79	131	560
SF14/ANA3814	146	132	119	142	148	687
ANA700	262	218	254	261	261	1,256
JAL296	159	152	164	162	160	797
SF16/ANA3816	148	135	134	140	143	700
日計	1,796	1,454	1,458	1,582	1,697	7,987

## 2. 回答者属性

### (1) 男女別、年代別

回答者の男女別、および年代別内訳は、下表の通り。

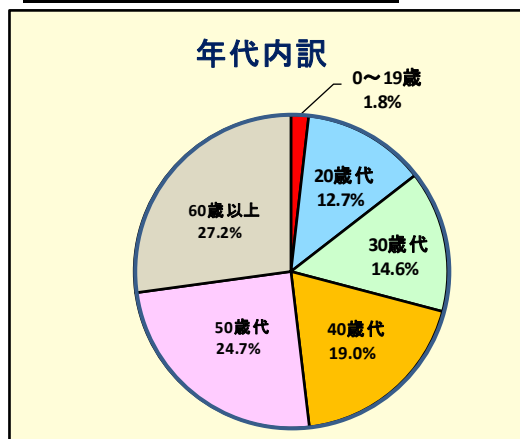
男女比率は6対4（男性61%、女性39%）。年代別では、60歳以上の高齢者も27%と、3割近くを占めている。

男女別

	n	%
男性	1,511	60.9
女性	969	39.1
(無回答)	(123)	-
回答合計	2,480	100.0

年代別

	n	%
0～19歳	45	1.8
20歳代	314	12.7
30歳代	362	14.6
40歳代	471	19.0
50歳代	612	24.7
60歳以上	673	27.2
(無回答)	(126)	-
回答合計	2,477	100.0

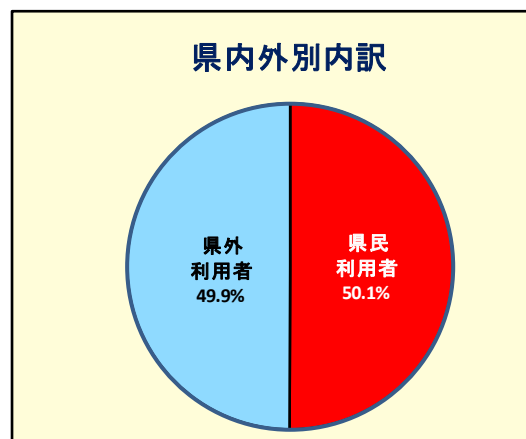


### (2) 住所

住所を県内外別にみると、下表の通り。県民利用者と県外利用者はほぼ半々の比率だった。

県内外別

	n	%
県民利用者	1,162	50.1
県外利用者	1,159	49.9
(無回答)	(282)	-
回答合計	2,321	100.0

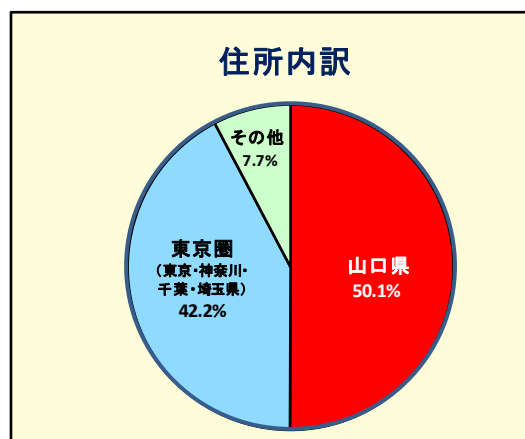


なお、都道府県別でみた住所は下表の通り。

山口県（50%）のほか東京都が20%を占め、東京圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）では42%と、県外利用者（50%）の大部分を占めている。

住所別（都道府県）

	n	%		n	%
北海道	19	0.8	滋賀県	1	0.0
青森県	0	0.0	京都府	0	0.0
岩手県	2	0.1	大阪府	5	0.2
宮城県	6	0.3	兵庫県	4	0.2
秋田県	11	0.5	奈良県	0	0.0
山形県	6	0.3	和歌山県	0	0.0
福島県	7	0.3	鳥取県	0	0.0
茨城県	34	1.5	島根県	6	0.3
栃木県	16	0.7	岡山県	1	0.0
群馬県	12	0.5	広島県	10	0.4
埼玉県	136	5.9	山口県	1,162	50.1
千葉県	163	7.0	徳島県	0	0.0
東京都	463	19.9	香川県	0	0.0
神奈川県	218	9.4	愛媛県	1	0.0
新潟県	0	0.0	高知県	0	0.0
富山県	9	0.4	福岡県	7	0.3
石川県	4	0.2	佐賀県	0	0.0
福井県	0	0.0	長崎県	1	0.0
山梨県	7	0.3	熊本県	0	0.0
長野県	3	0.1	大分県	0	0.0
岐阜県	0	0.0	宮崎県	0	0.0
静岡県	6	0.3	鹿児島県	0	0.0
愛知県	1	0.0	沖縄県	0	0.0
三重県	0	0.0	(無回答)	(282)	-
			回答合計	2,321	100.0



山口県民利用者の住所を市町村別にみると、下左表の通り。

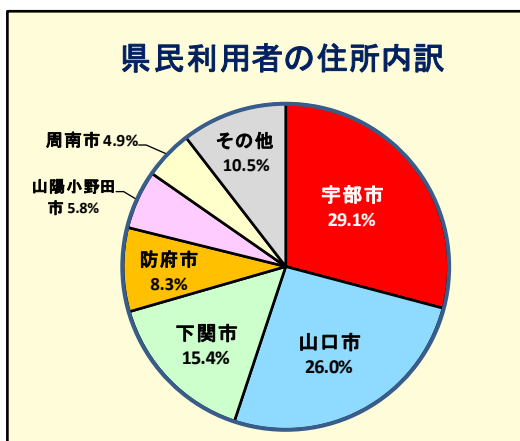
宇部市民が29%、山口市民が26%を占め、当該2市で55%を占めている。宇部市、山口市に次いで多かったのは、下関市の15%だった。

過去の調査結果と比較すると（下右の時系列表）、山口市民と下関市民の比率が高まっている。県東部方面（周南市等）はもともと利用が少なく、平成24年12月の岩国錦帯橋空港オープン後も、やや利用比率が低下した程度で大きな変化はない。

住所別（山口県の市町内訳）

	n	%
下関市	178	15.4
宇部市	336	29.1
山口市	300	26.0
萩市	33	2.9
防府市	96	8.3
下松市	11	1.0
岩国市	6	0.5
光市	8	0.7
長門市	25	2.2
柳井市	0	0.0
美祢市	33	2.9
周南市	56	4.9
山陽小野田市	67	5.8
周防大島町	0	0.0
和木町	0	0.0
上関町	0	0.0
田布施町	1	0.1
平生町	2	0.2
阿武町	2	0.2
（無回答）	(8)	-
回答合計	1,154	100.0

※住所で「山口県」と回答した1,162サンプルの内訳



山口県民利用者の市町住所【時系列】

	平成30年度		平成23年度		平成18年度	
	n	%	n	%	n	%
下関市	178	15.4	117	10.9	125	12.2
宇部市	336	29.1	364	34.0	319	31.1
山口市	300	26.0	199	18.6	217	21.2
萩市	33	2.9	24	2.2	32	3.1
防府市	96	8.3	97	9.0	82	8.0
下松市	11	1.0	23	2.1	33	3.2
岩国市	6	0.5	1	0.1	0	0.0
光市	8	0.7	21	2.0	33	3.2
長門市	25	2.2	36	3.4	13	1.3
柳井市	0	0.0	3	0.3	5	0.5
美祢市	33	2.9	28	2.6	20	1.9
周南市	56	4.9	56	5.2	73	7.1
山陽小野田市	67	5.8	97	9.0	62	6.0
周防大島町	0	0.0	0	0.0	0	0.0
和木町	0	0.0	0	0.0	0	0.0
上関町	0	0.0	0	0.0	0	0.0
田布施町	1	0.1	0	0.0	9	0.9
平生町	2	0.2	4	0.4	1	0.1
阿武町	2	0.2	2	0.2	2	0.2
（無回答）	(8)	-	(0)	-	(0)	-
回答合計	1,154	100.0	1,072	100.0	1,026	100.0

### (3) その他

なお、上記属性結果から、男女・県内外利用者別に分けると、下表のようになる。次章以降で回答内容をクロス集計する際に、この男女・県内外別4区分を用いることがある。

男女・県内外別

	n	%
男性: 県民利用者	644	28.0
男性: 県外利用者	766	33.3
女性: 県民利用者	507	22.0
女性: 県外利用者	384	16.7
(無回答)	(302)	-
回答合計	2,301	100.0

※ここでの無回答数は、性別、住所のいずれかでも無回答だったサンプル数。

また、前章の調査概要で示した便名別回収サンプル数を、時間帯区分して集計すると下表のようになる。次章以降で回答内容をクロス集計する際に、この搭乗時間帯4区分を用いることがある。

搭乗時間帯別

	n	%
始発帯 (①~②便) 利用者	375	14.4
午 前 (③~④便) 利用者	519	20.0
午 後 (⑤~⑧便) 利用者	1,207	46.5
最終帯 (⑨~⑩便) 利用者	496	19.1
(無回答)	(6)	-
回答合計	2,597	100.0

※丸数字は、既出の表「便名別：回収サンプル数」に付記した便番号



### 3. 東京便の利用状況

#### (1) 利用目的

今回の利用目的を尋ねたところ、下表のようになった。

「出張」が46%、一方「観光」が30%だった。そのほか「帰省」が16%。

これを年代別にみると（下表）、「60歳以上」で「その他」とした者が多い。特に目を引くのが「家族に会いに」と記した「その他」回答。つまり、「帰省」の逆パターンで、実家の方から、孫の顔を見るためなどの目的で出向いていく。高齢者が「その他」として「私用・用事」と記ししたり、「その他」とのみ回答したりした中にも、そういう目的のものが含まれているだろう。これらは、質問項目にあった「帰省」と、趣旨はあまり変わらない。

いずれにしても、「その他」にあるものはいずれも、「出張」でも「観光」でもなく、個人的な目的での利用である。その意味では「帰省」も、趣旨は同じである。

利用目的（「その他」の内訳つき）

	n	%
出張	1,189	46.0
観光	783	30.3
帰省	419	16.2
その他（目的記載なし）	69	2.7
その他（行事・イベント参加）	38	1.5
その他（私用・用事）	39	1.5
その他（家族に会いに）	48	1.9
（無回答）	(18)	-
回答合計	2,585	100.0

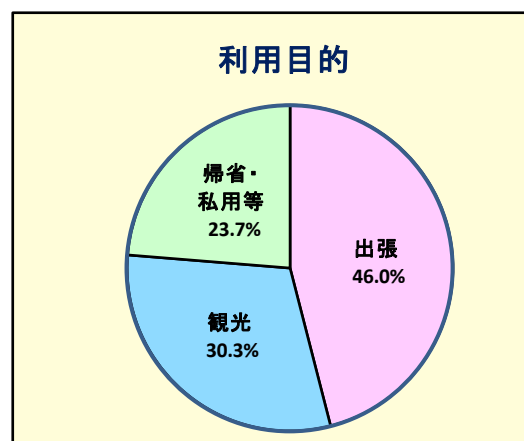
年代別・利用目的（「その他」の内訳つき）

		出張	観光	帰省	その他 （目的記載 なし）	その他 （行事・イ ベント参加）	その他 （私用・ 用事）	その他 （家族に 会いに）	（無回答）	回答合計
0～19歳	n	5	33	5	1	1	0	0	(0)	45
	%	11.1	73.3	11.1	2.2	2.2	0.0	0.0	-	100.0
20歳代	n	116	109	72	3	6	4	1	(3)	311
	%	37.3	35.0	23.2	1.0	1.9	1.3	0.3	-	100.0
30歳代	n	190	102	58	2	6	3	0	(1)	361
	%	52.6	28.3	16.1	0.6	1.7	0.8	0.0	-	100.0
40歳代	n	300	98	57	9	1	3	1	(2)	469
	%	64.0	20.9	12.2	1.9	0.2	0.6	0.2	-	100.0
50歳代	n	363	121	97	16	5	3	6	(1)	611
	%	59.4	19.8	15.9	2.6	0.8	0.5	1.0	-	100.0
60歳以上	n	157	284	112	33	18	24	38	(7)	666
	%	23.6	42.6	16.8	5.0	2.7	3.6	5.7	-	100.0

※年代について無回答のサンプルは含まれていない。

そこで、「帰省」と「その他」を合計して「帰省・私用等」と括り直すと、下表のようになる。  
山口宇部空港における東京便の利用は、「出張」目的が46%と半分近くを占め、そのほか「観光」が30%、「帰省・私用等」が24%となった。

	n	%
出張	1,189	46.0
観光	783	30.3
帰省・私用等	613	23.7
(無回答)	(18)	-
回答合計	2,585	100.0



これを過去の調査結果と比較したものが下表。  
かつては「出張」が5割を超えていたが、やや低下した。一方「観光」目的で利用する割合が高まってきている。

	平成30年度		平成23年度		平成18年度	
	n	%	n	%	n	%
出張	1,189	46.0	1,241	53.3	1,058	54.5
観光	783	30.3	519	22.3	349	18.0
帰省・私用等	613	23.7	570	24.5	534	27.5
(無回答)	(18)	-	(42)	-	(43)	-
回答合計	2,585	100.0	2,330	100.0	1,941	100.0

搭乗時間帯別にみると、下表のようになる。「出張」だけでなく「観光」でも、午前中の利用がやや多い。「帰省・私用等」の場合は、午後の利用が多い。

		出張	観光	帰省・私用等	(無回答)	回答合計
始発帯利用者	n	182	145	46	(2)	373
	%	48.8	38.9	12.3	-	100.0
午前利用者	n	257	195	64	(3)	516
	%	49.8	37.8	12.4	-	100.0
午後利用者	n	531	278	387	(11)	1,196
	%	44.4	23.2	32.4	-	100.0
最終帯利用者	n	217	161	116	(2)	494
	%	43.9	32.6	23.5	-	100.0

※搭乗便について無回答のサンプルは含まれていない。

次に、男女・県内外利用者別にみると、下表のようになる。

「出張」目的は男性に多く、男性の6割強（62%）を占める。一方女性の「出張」目的は19%に過ぎない。

一方「観光」目的と「帰省・私用等」目的については、ともに女性に多い。

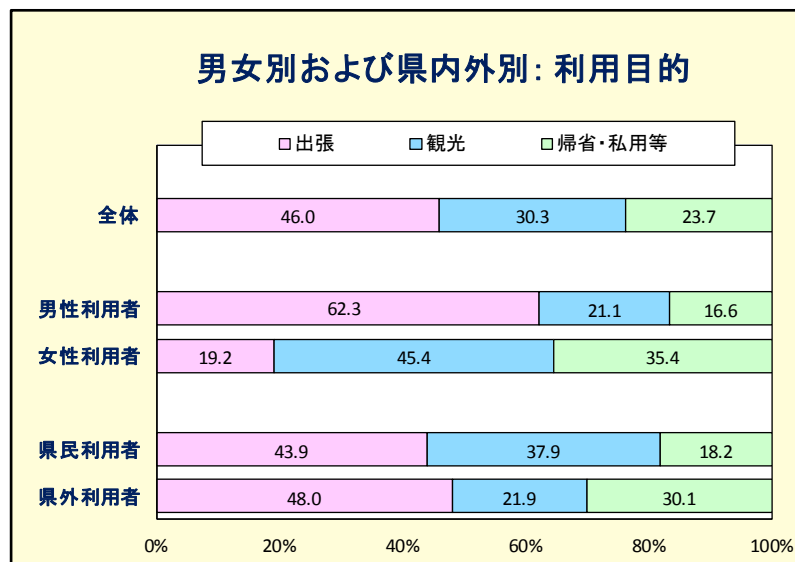
なお、「観光」については、女性の中でも特に県民利用者の女性に多く、5割以上（53%）を占めている（県外女性では34%に留まる）。つまり、「観光」目的の利用は女性に多いが、県外から山口県観光に来るパターンよりも、山口県から観光のため出ていくパターンの方が多いようだ。

一方、県外利用者の女性は「帰省・私用等」が特に多く、5割近く（48%）を占めている。つまり、県外の女性がこの路線を利用しているのは、観光や仕事のためよりも、プライベートな目的のものが多。何らかの形で山口県の縁故者が多いものと思われる。

男女県内外別・利用目的

		出張	観光	帰省・私用等	(無回答)	回答合計
男性：県民利用者	n	392	168	80	(4)	640
	%	61.3	26.3	12.5	-	100.0
男性：県外利用者	n	479	122	158	(7)	759
	%	63.1	16.1	20.8	-	100.0
女性：県民利用者	n	108	268	128	(3)	504
	%	21.4	53.2	25.4	-	100.0
女性：県外利用者	n	69	129	185	(1)	383
	%	18.0	33.7	48.3	-	100.0
男性利用者	n	934	317	249	(11)	1,500
	%	62.3	21.1	16.6	-	100.0
女性利用者	n	185	438	342	(4)	965
	%	19.2	45.4	35.4	-	100.0
県民利用者	n	507	438	210	(7)	1,155
	%	43.9	37.9	18.2	-	100.0
県外利用者	n	553	252	346	(8)	1,151
	%	48.0	21.9	30.1	-	100.0

※上段の表は、住所・性別についてどちらかでも無回答のサンプルは含まれていない。  
 ※下段の表は、住所もしくは性別について無回答のサンプルは含まれていない。

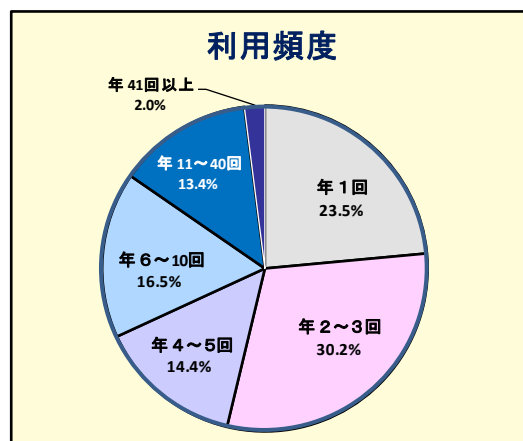


## (2) 利用頻度

利用頻度は、下表の通り。当該質問は具体的数値（年間利用回数）で回答してもらったが、その数値をカテゴリーに集約して作表した。

年 11 回（ほぼ、月に 1 回ペース）以上のヘビーユーザーは 15%と少なく、年 3 回以下の利用者が 5 割以上（54%）を占めている。

	n	%
年 1 回	559	23.5
年 2～3 回	718	30.2
年 4～5 回	342	14.4
年 6～10 回	391	16.5
年 11～40 回	318	13.4
年 41 回以上	48	2.0
(無回答)	(227)	--
回答合計	2,376	100.0

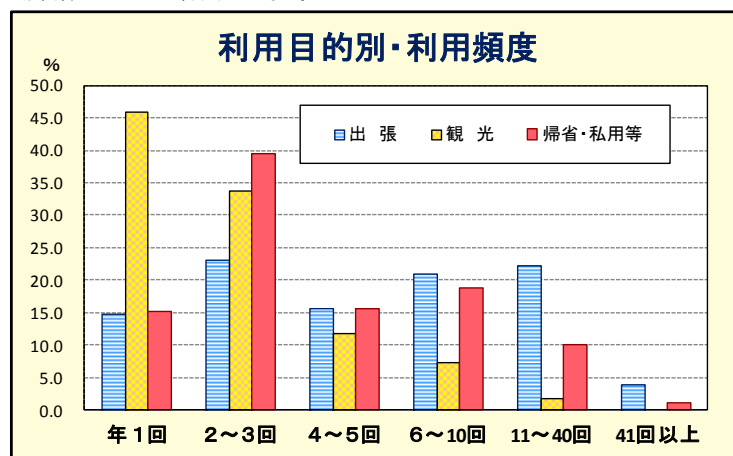


これを利用目的別にみると（下表）、「出張」目的の利用者の場合は比較的使用頻度が高く、年 11 回以上が 26%を占め、年 6 回以上（2 か月に 1 度以上のペース）だと 47%と、ほぼ半数を占める。

「観光」目的では、年 1 回だけ（つまり今回だけ）の利用が 46%と半数近くを占め、年 3 回未満だとほぼ 8 割（79%）となる。「帰省・私用等」目的では、年 2～3 回（つまり半年に 1 回程度のイメージ）が 39%と突出している。

		年 1 回	2～3 回	4～5 回	6～10 回	11～40 回	41 回以上	(無回答)	回答合計
出張	n	163	256	173	233	247	42	(75)	1,114
	%	14.6	23.0	15.5	20.9	22.2	3.8	-	100.0
観光	n	307	226	78	48	12	0	(112)	671
	%	45.8	33.7	11.6	7.2	1.8	0.0	-	100.0
帰省・私用等	n	87	227	90	108	58	6	(37)	576
	%	15.1	39.4	15.6	18.8	10.1	1.0	-	100.0

※利用目的について無回答のサンプルは含まれていない。



なお、県内外利用者別では、利用頻度において大きな違いは見られなかった（県民の方が明らかに利用頻度が高いという傾向はみられなかった）。ただ、年1回だけ（つまり、今回だけ）との回答は、県外利用者に多かった。

県内外別・利用頻度

		年1回	2～3回	4～5回	6～10回	11～40回	41回以上	(無回答)	回答合計
県民利用者	n	204	327	157	190	170	27	(87)	1,075
	%	19.0	30.4	14.6	17.7	15.8	2.5	-	100.0
県外利用者	n	304	325	151	169	125	17	(68)	1,091
	%	27.9	29.8	13.8	15.5	11.5	1.6	-	100.0

※住所について無回答のサンプルは含まれていない。

また、搭乗時間帯別でも、利用頻度には大きな違いは見られなかった。

搭乗時間帯別・利用頻度

		年1回	2～3回	4～5回	6～10回	11～40回	41回以上	(無回答)	回答合計
始発帯利用者	n	55	105	44	64	59	4	(44)	331
	%	16.6	31.7	13.3	19.3	17.8	1.2	-	100.0
午前利用者	n	127	147	65	56	62	12	(50)	469
	%	27.1	31.3	13.9	11.9	13.2	2.6	-	100.0
午後利用者	n	264	336	174	203	124	27	(79)	1,128
	%	23.4	29.8	15.4	18.0	11.0	2.4	-	100.0
最終帯利用者	n	112	129	59	67	73	5	(51)	445
	%	25.2	29.0	13.3	15.1	16.4	1.1	-	100.0

※搭乗便について無回答のサンプルは含まれていない。

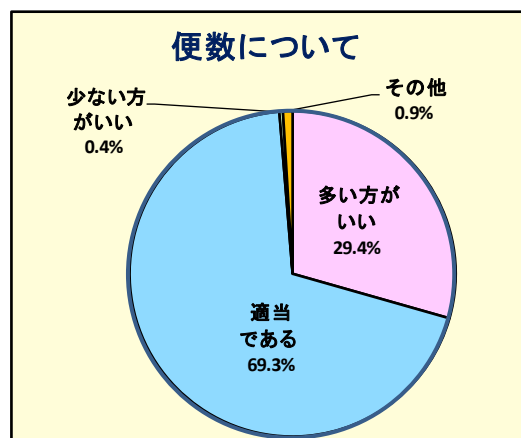
## 4. 便数、ダイヤについての意識

### (1) 便数について

便数（現在 10 便）について尋ねたところ、「多い方がいい」との回答は 29%にとどまり、「適当である」が約 7 割（69%）を占めた。

便数について

	n	%
多い方がいい	745	29.4
少ない方がいい	9	0.4
適当である	1,755	69.3
その他	24	0.9
（無回答）	(70)	-
回答合計	2,533	100.0



便数について（「その他」の内訳つき）

	n	%
多い方がいい	745	29.4
少ない方がいい	9	0.4
適当である	1,755	69.3
その他(内容記載なし)	6	0.2
その他(便数より時間帯が重要)	11	0.4
その他(時間間隔を考えてほしい)	5	0.2
その他(機材を大きくしてほしい)	2	0.1
（無回答）	(70)	-
回答合計	2,533	100.0

過去の回答と比較すると、次第に増便されてきた（平成 18 年度調査時 8 便→平成 23 年度調査時 9 便、→今回調査時 10 便）こともあってか、「適当である」との回答比率が高まり、「多い方がいい」との回答比率が低下してきている。

便数について【時系列】

	平成30年度【10便】		平成23年度【9便】		平成18年度【8便】	
	n	%	n	%	n	%
多い方がいい	745	29.4	760	32.5	793	40.8
少ない方がいい	9	0.4	19	0.8	6	0.3
適当である	1,755	69.3	1,505	64.5	1,102	56.7
その他	24	0.9	51	2.2	44	2.3
（無回答）	(70)	-	(37)	-	(39)	-
回答合計	2,533	100.0	2,335	100.0	1,945	100.0

とはいえ、現在でも「多い方がいい」との回答が3割近くあるわけだが、当該回答者の望む便数は、下表のように、15往復以下が太宗を占めている。

「多い方がいい」回答者の望む便数

	n	%
11～12往復	105	33.2
13～15往復	146	46.2
16～19往復	19	6.0
20～24往復	45	14.2
25往復以上	1	0.3
(無回答)	(429)	-
回答合計	316	100.0

※「多い方がいい」と回答した745サンプル。  
半数以上が具体的便数については無回答。

なお、便数についての回答を県内外利用者別にみると大きな違いはなかったが、利用目的別にみると、「出張」目的利用者において「多い方がいい」との回答がやや多かった。

県内外別・便数について

		多い方がいい	少ない方がいい	適当である	その他	(無回答)	回答合計
県民利用者	n	344	4	776	9	(29)	1,133
	%	31.2	0.4	70.3	0.8	-	102.6
県外利用者	n	318	3	796	12	(30)	1,129
	%	28.9	0.3	72.4	1.1	-	102.7

※住所について無回答のサンプルは含まれていない。

利用目的別・便数について

		多い方がいい	少ない方がいい	適当である	その他	(無回答)	回答合計
出張	n	374	5	772	12	(26)	1,163
	%	32.9	0.4	67.9	1.1	-	102.3
観光	n	182	3	556	8	(34)	749
	%	25.5	0.4	77.8	1.1	-	104.8
帰省・私用等	n	185	1	413	4	(10)	603
	%	31.2	0.2	69.6	0.7	-	101.7

※利用目的について無回答のサンプルは含まれていない。

また、搭乗時間帯別にみると、最終帯利用者（最終便、および最終便の1つ前の便の利用者）において、「適当である」との回答が65%とやや低くなり、「多い方がいい」との回答割合が34%とやや高くなっている。

搭乗時間帯別・便数について

		多い方がいい	少ない方がいい	適当である	その他	(無回答)	回答合計
始発帯利用者	n	108	2	257	3	(5)	370
	%	29.6	0.5	70.4	0.8	-	101.4
午前利用者	n	138	2	358	4	(17)	502
	%	28.5	0.4	73.8	0.8	-	103.5
午後利用者	n	338	3	828	10	(28)	1,179
	%	29.4	0.3	71.9	0.9	-	102.4
最終帯利用者	n	160	2	308	6	(5)	476
	%	34.0	0.4	65.4	1.3	-	101.1

※搭乗便について無回答のサンプルは含まれていない。

## (2) 運航ダイヤについて

運航ダイヤについて、宇部発の始発便と最終便、羽田発の始発便と最終便のそれぞれについて尋ねた。始発便については、宇部発（現行 7:40）、羽田発（現行 7:20）ともに、「早い方がよい」との回答が 10%以上あったものの、「適当である」との回答が 8割以上を占めており、概ね妥当とされている。

最終便については、宇部発（現行 20:05）は「遅い方がよい」が 27%と 3割近くを占めたものの、「適当である」との回答が 7割以上（71%）を占めている。しかし羽田発（現行 19:10）については、「遅い方がよい」との回答が 43%を占めて、「適当である」の 56%に迫る状況となっている。

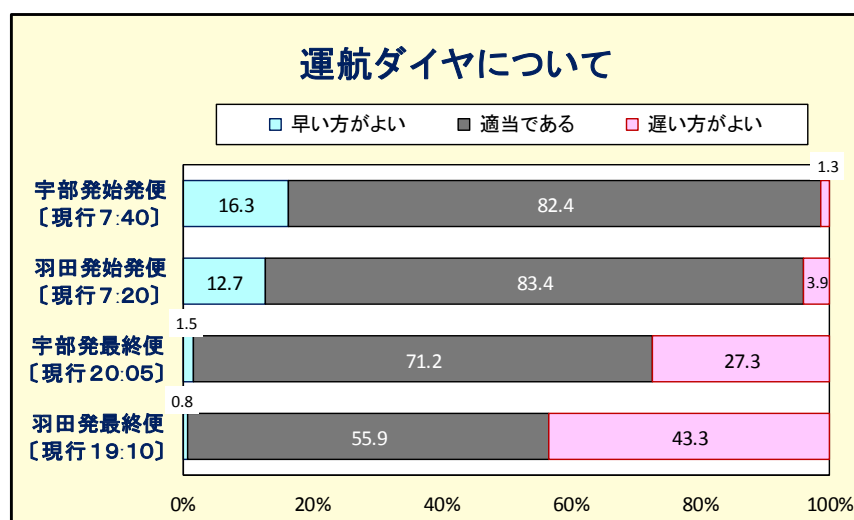
つまり、運航ダイヤについての不満は、始発便よりも最終便についてのほうが強く、特に羽田発最終便については、もっと遅くしてほしいという不満がかなり強い。

運航ダイヤについて： 山口宇部空港発

宇部発始発便	n	%	宇部発最終便	n	%
早い方がよい	406	16.3	早い方がよい	34	1.5
適当である	2,050	82.4	適当である	1,589	71.2
遅い方がよい	32	1.3	遅い方がよい	608	27.3
(無回答)	(115)	-	(無回答)	(372)	-
回答合計	2,488	100.0	回答合計	2,231	100.0

運航ダイヤについて： 東京羽田空港発

羽田発始発便	n	%	羽田発最終便	n	%
早い方がよい	312	12.7	早い方がよい	18	0.8
適当である	2,050	83.4	適当である	1,267	55.9
遅い方がよい	97	3.9	遅い方がよい	982	43.3
(無回答)	(144)	-	(無回答)	(336)	-
回答合計	2,459	100.0	回答合計	2,267	100.0





これを過去の回答と比較してみたのが下表。

宇部発最終便については、実際に時間帯が遅くなっていることもあり（平成23年度と比べると1時間遅くなっている）、「適当である」の割合が増加している。しかし羽田発最終便については、時間帯にあまり変化がないため、相変わらず不満がかなり強い状況になっている。

山口宇部空港発 始発便 の運航ダイヤについて【時系列】

	平成30年度【7:40】		平成23年度【7:40】		平成18年度【8:00】	
	n	%	n	%	n	%
早い方がよい	406	16.3	380	17.1	561	30.2
適当である	2,050	82.4	1,763	79.3	1,252	67.3
遅い方がよい	32	1.3	59	2.7	33	1.8
その他	(質問項目なし)		20	0.9	13	0.7
(無回答)	(115)	-	(150)	-	(125)	-
回答合計	2,488	100.0	2,222	100.0	1,859	100.0

東京羽田空港発 始発便 の運航ダイヤについて【時系列】

	平成30年度【7:20】		平成23年度【6:35】		平成18年度【6:55】	
	n	%	n	%	n	%
早い方がよい	312	12.7	100	4.5	105	5.7
適当である	2,050	83.4	1,791	81.2	1,454	78.7
遅い方がよい	97	3.9	299	13.5	270	14.6
その他	(質問項目なし)		17	0.8	18	1.0
(無回答)	(144)	-	(165)	-	(137)	-
回答合計	2,459	100.0	2,207	100.0	1,847	100.0

山口宇部空港発 最終便 の運航ダイヤについて【時系列】

	平成30年度【20:05】		平成23年度【19:05】		平成18年度【19:25】	
	n	%	n	%	n	%
早い方がよい	34	1.5	45	2.3	695	38.0
適当である	1,589	71.2	1,240	62.2	1,035	56.6
遅い方がよい	608	27.3	692	34.7	85	4.6
その他	(質問項目なし)		16	0.8	14	0.8
(無回答)	(372)	-	(379)	-	(155)	-
回答合計	2,231	100.0	1,993	100.0	1,829	100.0

東京羽田空港発 最終便 の運航ダイヤについて【時系列】

	平成30年度【19:10】		平成23年度【19:15】		平成18年度【18:55】	
	n	%	n	%	n	%
早い方がよい	18	0.8	38	1.9	39	2.1
適当である	1,267	55.9	1,134	57.0	763	41.6
遅い方がよい	982	43.3	804	40.4	1,021	55.7
その他	(質問項目なし)		14	0.7	11	0.6
(無回答)	(336)	-	(382)	-	(150)	-
回答合計	2,267	100.0	1,990	100.0	1,834	100.0

搭乗時間帯別に回答結果をみたのが下表。実際に始発便や最終便を利用することが多いと思われる始発帯利用者や最終帯利用者においても、回答内容にそれほど大きな違いはなかった。

運航ダイヤについて【始発帯利用者】：山口宇部空港発 運航ダイヤについて【始発帯利用者】：東京羽田空港発

宇部発始発便			宇部発最終便			羽田発始発便			羽田発最終便		
	n	%		n	%		n	%		n	%
早い方がよい	87	24.4	早い方がよい	5	1.6	早い方がよい	45	13.2	早い方がよい	3	1.0
適当である	264	74.2	適当である	202	65.4	適当である	283	83.2	適当である	149	47.6
遅い方がよい	5	1.4	遅い方がよい	102	33.0	遅い方がよい	12	3.5	遅い方がよい	161	51.4
(無回答)	(19)	-	(無回答)	(66)	-	(無回答)	(35)	-	(無回答)	(62)	-
回答合計	356	100.0	回答合計	309	100.0	回答合計	340	100.0	回答合計	313	100.0

運航ダイヤについて【午前利用者】：山口宇部空港発 運航ダイヤについて【午前利用者】：東京羽田空港発

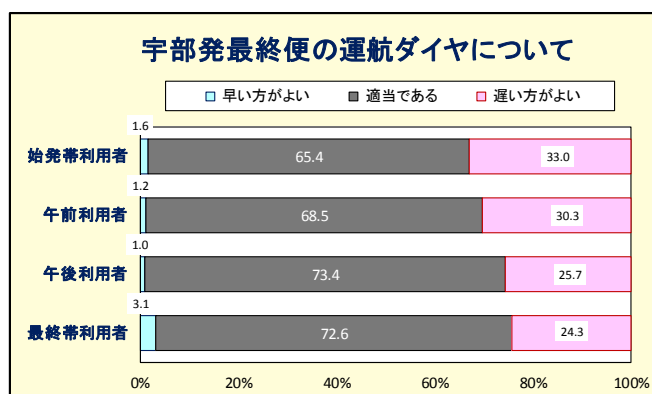
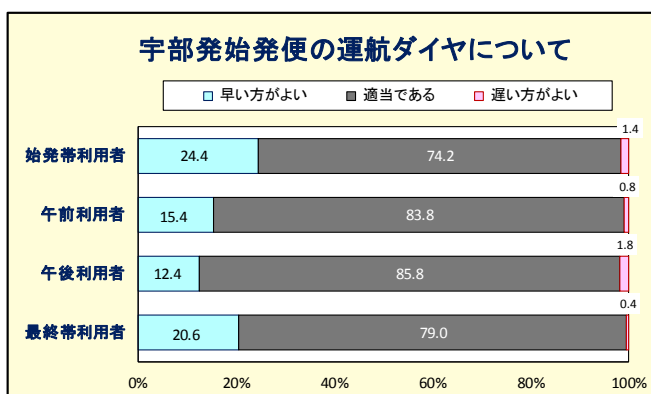
宇部発始発便			宇部発最終便			羽田発始発便			羽田発最終便		
	n	%		n	%		n	%		n	%
早い方がよい	78	15.4	早い方がよい	5	1.2	早い方がよい	55	11.2	早い方がよい	3	0.7
適当である	423	83.8	適当である	287	68.5	適当である	417	85.1	適当である	229	53.1
遅い方がよい	4	0.8	遅い方がよい	127	30.3	遅い方がよい	18	3.7	遅い方がよい	199	46.2
(無回答)	(14)	-	(無回答)	(100)	-	(無回答)	(29)	-	(無回答)	(88)	-
回答合計	505	100.0	回答合計	419	100.0	回答合計	490	100.0	回答合計	431	100.0

運航ダイヤについて【午後利用者】：山口宇部空港発 運航ダイヤについて【午後利用者】：東京羽田空港発

宇部発始発便			宇部発最終便			羽田発始発便			羽田発最終便		
	n	%		n	%		n	%		n	%
早い方がよい	143	12.4	早い方がよい	10	1.0	早い方がよい	137	11.9	早い方がよい	4	0.4
適当である	990	85.8	適当である	769	73.4	適当である	958	83.4	適当である	641	59.8
遅い方がよい	21	1.8	遅い方がよい	269	25.7	遅い方がよい	54	4.7	遅い方がよい	427	39.8
(無回答)	(53)	-	(無回答)	(159)	-	(無回答)	(58)	-	(無回答)	(135)	-
回答合計	1,154	100.0	回答合計	1,048	100.0	回答合計	1,149	100.0	回答合計	1,072	100.0

運航ダイヤについて【最終帯利用者】：山口宇部空港発 運航ダイヤについて【最終帯利用者】：東京羽田空港発

宇部発始発便			宇部発最終便			羽田発始発便			羽田発最終便		
	n	%		n	%		n	%		n	%
早い方がよい	96	20.6	早い方がよい	14	3.1	早い方がよい	74	15.6	早い方がよい	8	1.8
適当である	369	79.0	適当である	326	72.6	適当である	387	81.6	適当である	244	54.8
遅い方がよい	2	0.4	遅い方がよい	109	24.3	遅い方がよい	13	2.7	遅い方がよい	193	43.4
(無回答)	(29)	-	(無回答)	(47)	-	(無回答)	(22)	-	(無回答)	(51)	-
回答合計	467	100.0	回答合計	449	100.0	回答合計	474	100.0	回答合計	445	100.0



上記質問では、「早い方がよい」「遅い方がよい」と回答した者に対しては、では何時何分がよいのかを尋ねている。その回答結果が下表。何時何分と回答したものを30分刻みでカテゴリー化して集計した。(次ページにグラフ化したものを掲載)

「早い方がよい」もしくは「遅い方がよい」回答者の望む時間帯 [山口宇部空港]					「早い方がよい」もしくは「遅い方がよい」回答者の望む時間帯 [東京羽田空港]							
宇部発始発便 [現在 7:40]	n	%	宇部発最終便 [現在 20:05]	n	%	羽田発始発便 [現在 7:20]	n	%	羽田発最終便 [現在 19:10]	n	%	
5:00~5:29	1	0.3	17:30~17:59	0	0.0	5:00~5:29	0	0.0	17:30~17:59	1	0.1	
5:30~5:59	0	0.0	18:00~18:29	2	0.5	5:30~5:59	0	0.0	18:00~18:29	1	0.1	
6:00~6:29	56	19.0	18:30~18:59	2	0.5	6:00~6:29	54	22.6	18:30~18:59	3	0.4	
6:30~6:59	65	22.0	19:00~19:29	9	2.2	6:30~6:59	67	28.0	19:00~19:29	1	0.1	
7:00~7:29	147	49.8	19:30~19:59	9	2.2	7:00~7:29	63	26.4	19:30~19:59	15	2.2	
7:30~7:59	2	0.7	20:00~20:29	7	1.7	7:30~7:59	5	2.1	20:00~20:29	268	39.8	
8:00~8:29	9	3.1	20:30~20:59	20	4.9	8:00~8:29	28	11.7	20:30~20:59	94	13.9	
8:30~8:59	6	2.0	21:00~21:29	216	52.6	8:30~8:59	8	3.3	21:00~21:29	195	28.9	
9:00~9:29	8	2.7	21:30~21:59	38	9.2	9:00~9:29	13	5.4	21:30~21:59	12	1.8	
9:30~9:59	0	0.0	22:00~22:29	93	22.6	9:30~9:59	1	0.4	22:00~22:29	69	10.2	
10:00以降	1	0.3	22:30~22:59	4	1.0	10:00以降	0	0.0	22:30~22:59	3	0.4	
(時間帯無回答)	(143)	-	23:00以降	11	2.7	(時間帯無回答)	(170)	-	23:00以降	12	1.8	
回答合計	295	100.0	(時間帯無回答)	(231)	-	回答合計	239	100.0	(時間帯無回答)	(326)	-	
※「早い方」もしくは「遅い方」を回答した者のみが対象					回答合計	411	100.0	※「早い方」もしくは「遅い方」を回答した者のみが対象				

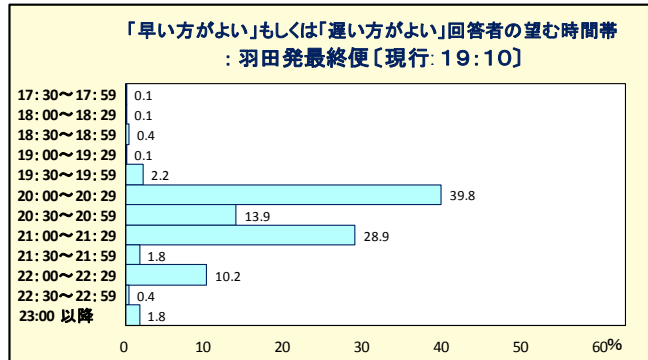
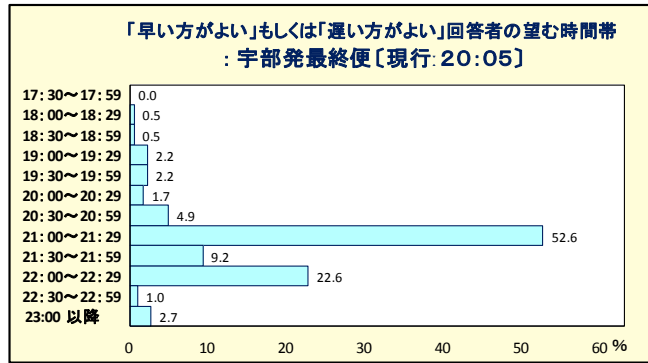
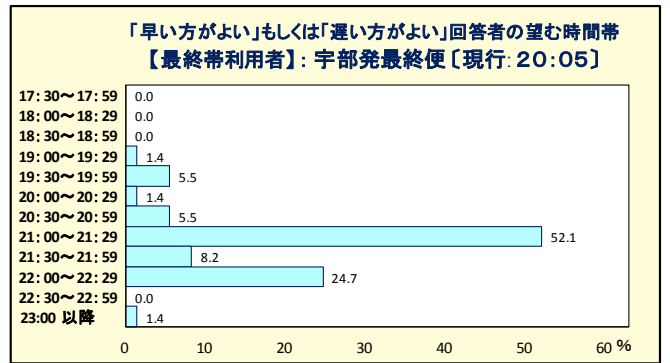
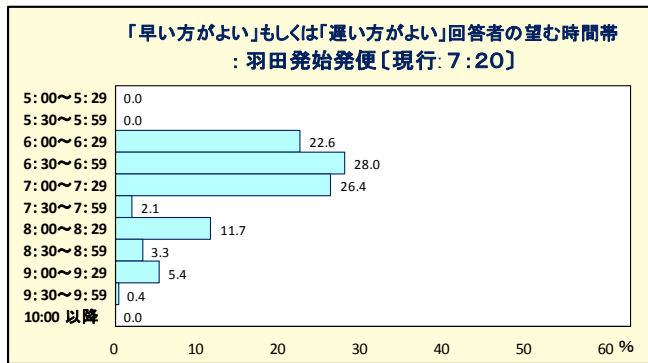
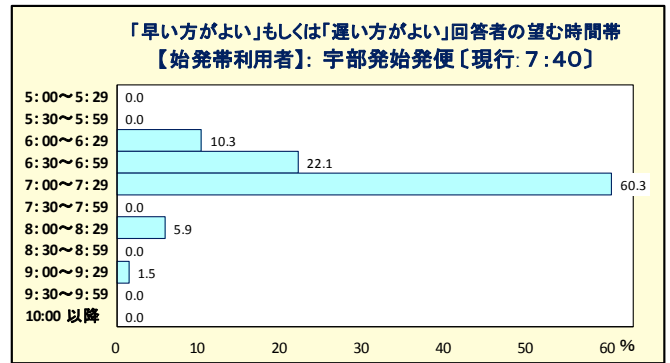
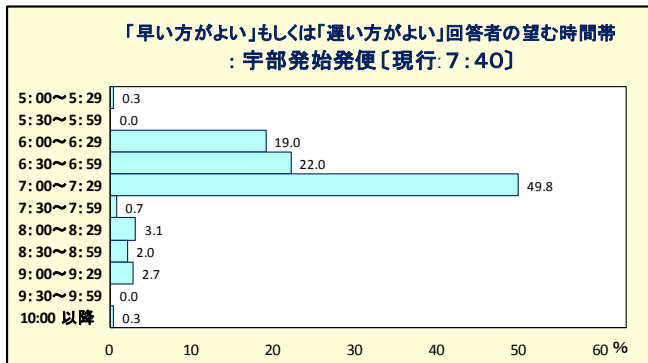
【始発帯利用者】における「早い方がよい」もしくは「遅い方がよい」回答者の望む時間帯 [山口宇部空港]					【始発帯利用者】における「早い方がよい」もしくは「遅い方がよい」回答者の望む時間帯 [東京羽田空港]							
宇部発始発便 [現在 7:40]	n	%	宇部発最終便 [現在 20:05]	n	%	羽田発始発便 [現在 7:20]	n	%	羽田発最終便 [現在 19:10]	n	%	
5:00~5:29	0	0.0	17:30~17:59	0	0.0	5:00~5:29	0	0.0	17:30~17:59	0	0.0	
5:30~5:59	0	0.0	18:00~18:29	1	1.5	5:30~5:59	0	0.0	18:00~18:29	1	0.9	
6:00~6:29	7	10.3	18:30~18:59	1	1.5	6:00~6:29	7	20.0	18:30~18:59	1	0.9	
6:30~6:59	15	22.1	19:00~19:29	3	4.4	6:30~6:59	10	28.6	19:00~19:29	1	0.9	
7:00~7:29	41	60.3	19:30~19:59	0	0.0	7:00~7:29	13	37.1	19:30~19:59	2	1.8	
7:30~7:59	0	0.0	20:00~20:29	3	4.4	7:30~7:59	0	0.0	20:00~20:29	46	40.7	
8:00~8:29	4	5.9	20:30~20:59	2	2.9	8:00~8:29	5	14.3	20:30~20:59	13	11.5	
8:30~8:59	0	0.0	21:00~21:29	33	48.5	8:30~8:59	0	0.0	21:00~21:29	38	33.6	
9:00~9:29	1	1.5	21:30~21:59	5	7.4	9:00~9:29	0	0.0	21:30~21:59	1	0.9	
9:30~9:59	0	0.0	22:00~22:29	16	23.5	9:30~9:59	0	0.0	22:00~22:29	7	6.2	
10:00以降	0	0.0	22:30~22:59	2	2.9	10:00以降	0	0.0	22:30~22:59	1	0.9	
(時間帯無回答)	(24)	-	23:00以降	2	2.9	(時間帯無回答)	(22)	-	23:00以降	2	1.8	
回答合計	68	100.0	(時間帯無回答)	(39)	-	回答合計	35	100.0	(時間帯無回答)	(51)	-	
※「早い方」もしくは「遅い方」を回答した者のみが対象					回答合計	68	100.0	※「早い方」もしくは「遅い方」を回答した者のみが対象				

【最終帯利用者】における「早い方がよい」もしくは「遅い方がよい」回答者の望む時間帯 [山口宇部空港]					【最終帯利用者】における「早い方がよい」もしくは「遅い方がよい」回答者の望む時間帯 [東京羽田空港]							
宇部発始発便 [現在 7:40]	n	%	宇部発最終便 [現在 20:05]	n	%	羽田発始発便 [現在 7:20]	n	%	羽田発最終便 [現在 19:10]	n	%	
5:00~5:29	0	0.0	17:30~17:59	0	0.0	5:00~5:29	0	0.0	17:30~17:59	0	0.0	
5:30~5:59	0	0.0	18:00~18:29	0	0.0	5:30~5:59	0	0.0	18:00~18:29	0	0.0	
6:00~6:29	16	27.6	18:30~18:59	0	0.0	6:00~6:29	13	27.1	18:30~18:59	0	0.0	
6:30~6:59	15	25.9	19:00~19:29	1	1.4	6:30~6:59	13	27.1	19:00~19:29	0	0.0	
7:00~7:29	26	44.8	19:30~19:59	4	5.5	7:00~7:29	13	27.1	19:30~19:59	3	2.3	
7:30~7:59	0	0.0	20:00~20:29	1	1.4	7:30~7:59	1	2.1	20:00~20:29	61	46.2	
8:00~8:29	0	0.0	20:30~20:59	4	5.5	8:00~8:29	4	8.3	20:30~20:59	16	12.1	
8:30~8:59	1	1.7	21:00~21:29	38	52.1	8:30~8:59	1	2.1	21:00~21:29	37	28.0	
9:00~9:29	0	0.0	21:30~21:59	6	8.2	9:00~9:29	3	6.3	21:30~21:59	3	2.3	
9:30~9:59	0	0.0	22:00~22:29	18	24.7	9:30~9:59	0	0.0	22:00~22:29	11	8.3	
10:00以降	0	0.0	22:30~22:59	0	0.0	10:00以降	0	0.0	22:30~22:59	0	0.0	
(時間帯無回答)	(40)	-	23:00以降	1	1.4	(時間帯無回答)	(39)	-	23:00以降	1	0.8	
回答合計	58	100.0	(時間帯無回答)	(50)	-	回答合計	48	100.0	(時間帯無回答)	(69)	-	
※「早い方」もしくは「遅い方」を回答した者のみが対象					回答合計	73	100.0	※「早い方」もしくは「遅い方」を回答した者のみが対象				

これをグラフ化したものが下図。

宇部発始発便（現行 7：40）については、現行よりやや早い 7 時代前半の希望が多い（50%）。実際の利用者である始発帯利用者の回答に限ると、7 時台前半の回答にさらに集約される（60%）。大幅に早くならなくても、あと少し早くなれば、ということのようだ。

その他の便は、羽田発始発便（現行 7：20）が 6 時から 7 時台前半（7：20 より早い 7 時台）。宇部発最終便（現行 20：05）については、21 時台前半。羽田発最終便（現行 19：10）については、20 時台を中心に 21 時台前半までが望まれている。



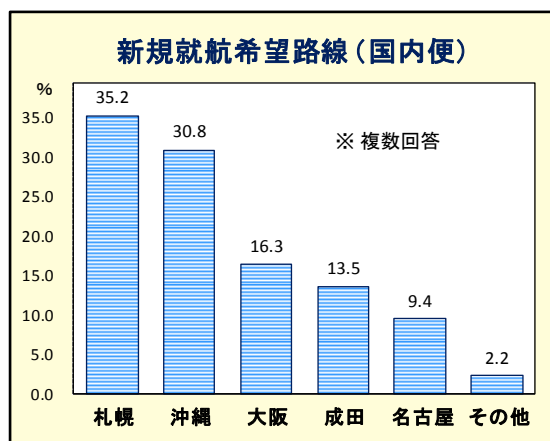
## 5. 新規就航希望路線

### (1) 国内線

新たに就航を希望する路線について尋ねた（複数回答）ところ、国内線については下表のようになった。突出して希望が多い路線はなかったが、「札幌」と「沖縄」がともに30%台を占めた。

新規就航希望路線：国内線  
（複数回答）

	n	%
札幌	916	35.2
沖縄	802	30.8
大阪	424	16.3
成田	351	13.5
名古屋	244	9.4
その他	56	2.2
サンプル合計	2,603	107.3



過去の調査結果と比較すると（下表）、調査時期により質問内容、様式が違い単純比較はできないものの、「札幌」の希望がやや低下し、「沖縄」の希望がやや増えているようである。

新規就航希望路線：国内線  
（「その他」の内訳つき）  
（複数回答）

	n	%
札幌	916	35.2
沖縄	802	30.8
大阪	424	16.3
成田	351	13.5
名古屋	244	9.4
その他（仙台）	24	0.9
その他（茨城）	8	0.3
その他（静岡）	5	0.2
その他（神戸）	3	0.1
その他（富山）	2	0.1
その他（函館）	2	0.1
その他（新潟）	2	0.1
その他（福島）	1	0.0
その他（宮崎）	1	0.0
その他（長崎）	1	0.0
その他（松山）	1	0.0
その他（秋田）	1	0.0
その他（金沢）	1	0.0
その他（高松）	1	0.0
その他（福岡）	1	0.0
その他（石見）	1	0.0
その他（小松）	1	0.0
サンプル合計	2,603	107.3

新規就航希望路線：国内線【時系列】

（平成30年度、18年度は複数回答、23年度は単一回答）

	平成30年度		平成23年度		平成18年度	
	n	%	n	%	n	%
札幌	916	35.2	785	41.6	819	41.3
沖縄	802	30.8	464	24.6	579	29.2
大阪	424	16.3	304	16.1	368	18.5
成田	351	13.5	（質問項目なし）		（質問項目なし）	
名古屋	244	9.4	189	10.0	359	18.1
その他	56	2.2	144	7.6	-	-
サンプル合計	2,603	107.3	1,886	100.0	1,984	107.1

※平成23年度は単一回答につき、合計は無回答を除く回答者数。

県内外利用者別に見たのが下表。

県民利用者においては、「札幌」「沖縄」に対する希望が5割近くとなっている。

県内外別・新規就航希望路線：国内線（複数回答）

		札幌	沖縄	大阪	成田	名古屋	サンプル 合計
県民利用者	n	543	519	214	146	120	1,162
	%	46.7	44.7	18.4	12.6	10.3	132.7
県外利用者	n	281	202	176	169	99	1,159
	%	24.2	17.4	15.2	14.6	8.5	80.0

※「その他」の回答を除く。

※住所について無回答のサンプルは含まれていない。

利用目的別に見たのが下表。

「沖縄」への希望は、「観光」目的利用者に多い（「出張」目的利用者に「沖縄」のニーズはそれほど高くない）。また「札幌」に対する希望も、「観光」目的利用者によるものが最も大きい。一方「名古屋」に対する希望は、比較的「出張」目的利用者に多い。

利用目的別・新規就航希望路線：国内線（複数回答）

		札幌	沖縄	大阪	成田	名古屋	サンプル 合計
出張	n	409	320	210	160	142	1,189
	%	34.4	26.9	17.7	13.5	11.9	104.4
観光	n	293	273	116	109	61	783
	%	37.4	34.9	14.8	13.9	7.8	108.8
帰省・私用等	n	208	207	96	79	39	613
	%	33.9	33.8	15.7	12.9	6.4	102.6

※「その他」の回答を除く。

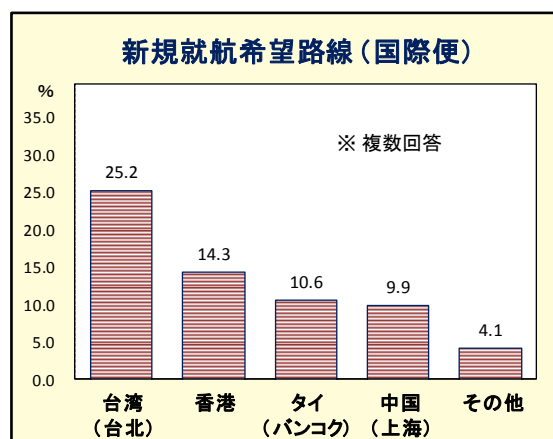
※利用目的について無回答のサンプルは含まれていない。

## (2) 国際線

国際線の就航希望については、下表のようになった。突出して希望の多い路線はなかったが、「台湾（台北）」が25%と、比較的多かった。

新規就航希望路線：国際線  
(複数回答)

	n	%
台湾（台北）	656	25.2
香港	372	14.3
タイ（バンコク）	275	10.6
中国（上海）	257	9.9
その他	108	4.1
サンプル合計	2,603	64.1



過去の調査結果と比較すると（下表）、調査時期により質問内容、様式が違い単純比較はできないものの、「台湾（台北）」に対する希望が高まりつつあるようである。一方「中国（上海）」に対する希望は、前回調査（平成23年度）と比べて小さくなってきているようである。

新規就航希望路線：国際線  
(「その他」の内訳つき)  
(複数回答)

就航希望：国際線	n	%
台湾（台北）	656	25.2
香港	372	14.3
タイ（バンコク）	275	10.6
中国（上海）	257	9.9
その他（韓国）	29	1.1
その他（ハワイ）	25	1.0
その他（ヨーロッパ）	14	0.5
その他（シンガポール）	13	0.5
その他（米国）	10	0.4
その他（グアム）	4	0.2
その他（ベトナム）	3	0.1
その他（マレーシア）	2	0.1
その他（中国・大連）	2	0.1
その他（ドバイ）	1	0.0
その他（メキシコ）	1	0.0
その他（インドネシア）	1	0.0
その他（中国・北京）	1	0.0
その他（マニラ）	1	0.0
その他（ブラジル）	1	0.0
サンプル合計	2,603	64.1

新規就航希望路線：国際線【時系列】

(平成30年度、18年度は複数回答、23年度は単一回答)

	平成30年度		平成23年度		平成18年度	
	n	%	n	%	n	%
台湾（台北）	656	25.2	253	15.6	214	10.8
香港	372	14.3	(質問項目なし)		(質問項目なし)	
タイ（バンコク）	275	10.6	(質問項目なし)		(質問項目なし)	
中国（上海）	257	9.9	449	27.6	51	2.6
中国（済南）	(質問項目なし)		24	1.5	1	0.1
韓国（ソウル）	(質問項目なし)		728	44.7	400	20.2
その他	108	4.1	173	10.6	173	8.7
サンプル合計	2,603	64.1	1,627	100.0	1,984	42.3

※平成23年度は単一回答につき、合計は無回答を除く回答者数。

県内外利用者別に見たのが、下表。

県民利用者においては、「台湾（台北）」に対する希望が31%と高くなっている。

県内外別・新規就航希望路線：国際線（複数回答）

		台湾 (台北)	香港	タイ (バンコク)	中国 (上海)	サンプル 合計
県民利用者	n	362	212	149	146	1,162
	%	31.2	18.2	12.8	12.6	74.8
県外利用者	n	233	135	97	100	1,159
	%	20.1	11.6	8.4	8.6	48.7

※「その他」の回答を除く。  
 ※住所について無回答のサンプルは含まれていない。

利用目的別に見たのが下表。

「出張」目的利用者においては、「台湾（台北）」に対する希望は23%に留まっている。また「中国（上海）」に対する希望は、「観光」目的利用者よりも「出張」目的利用者の方が強い。

利用目的別・新規就航希望路線：国際線（複数回答）

		台湾 (台北)	香港	タイ (バンコク)	中国 (上海)	サンプル 合計
出張	n	268	155	147	164	1,189
	%	22.5	13.0	12.4	13.8	61.7
観光	n	230	130	76	55	783
	%	29.4	16.6	9.7	7.0	62.7
帰省・私用等	n	152	84	51	38	613
	%	24.8	13.7	8.3	6.2	53.0

※「その他」の回答を除く。  
 ※利用目的について無回答のサンプルは含まれていない。



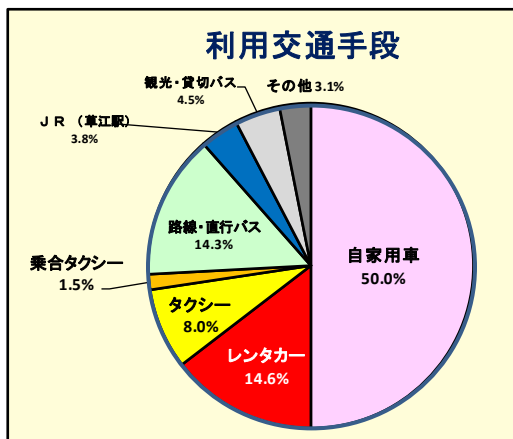
## 6. 利用交通手段

山口宇部空港まで利用した交通手段は、下表のとおり。

「自家用車」利用が5割（50%）を占めている。続いて「レンタカー」（15%）、「路線・直行バス」（14%）となっている。

利用交通手段

	n	%
自家用車	1,300	50.0
レンタカー	379	14.6
タクシー	209	8.0
乗合タクシー	40	1.5
路線・直行バス	373	14.3
JR（草江駅）	100	3.8
観光・貸切バス	118	4.5
その他	81	3.1
（無回答）	（3）	-
回答合計	2,600	100.0



過去の調査結果と比較すると（下表）、「自家用車」利用が5割を占めるのは相変わらずの傾向であった。「レンタカー」利用は次第に高まりつつあり、一方「タクシー」「乗合タクシー」の利用は減少傾向。特に「乗合タクシー」は、平成18年度と比べれば半減以下となっている。

公共交通では、「路線・直行バス」利用の割合は減少したが、「JR（草江駅）」利用が、まだ割合は小さい（4%）ながらも平成23年度調査比倍増している。

利用交通手段【時系列】

	平成30年度		平成23年度		平成18年度	
	n	%	n	%	n	%
自家用車	1,300	50.0	1,257	53.4	1,015	51.4
レンタカー	379	14.6	257	10.9	182	9.2
タクシー	209	8.0	212	9.0	240	12.2
乗合タクシー	40	1.5	53	2.3	67	3.4
路線・直行バス	373	14.3	382	16.2	309	15.7
JR（草江駅）	100	3.8	42	1.8	34	1.7
観光・貸切バス	118	4.5	86	3.7	67	3.4
その他	81	3.1	63	2.7	60	3.0
（無回答）	（3）	-	（20）	-	（10）	-
回答合計	2,600	100.0	2,352	100.0	1,974	100.0

利用交通手段（「その他」内訳つき）

	n	%
自家用車	1,300	50.0
レンタカー	379	14.6
バス（路線・直行）	373	14.3
バス（観光・貸切）	118	4.5
タクシー	209	8.0
乗合タクシー	40	1.5
JR（草江駅）	100	3.8
その他（手段記名なし）	26	1.0
その他（社用車）	13	0.5
その他（送ってもらった）	35	1.3
その他（徒歩）	5	0.2
その他（自転車）	2	0.1
（無回答）	（3）	-
回答合計	2,600	100.0

男女・県内外利用者別にみると、下表のとおり。

全体で5割を占める「自家用車」利用については、「県民利用者」に限れば8割以上（83%）となる。つまり、「県民利用者」では男女を問わずほとんどの者が「自家用車」利用している。「自家用車」以外では、「路線・直行バス」の利用が8%ある程度である。

逆に「県外利用者」に限ると、「自家用車」は少なく（19%）、これに「レンタカー」利用（28%）を合わせても47%と5割に届かない。「タクシー」利用が14%を占め（「県民利用者」の「タクシー」利用は4%と少ない）、「路線・直行バス」利用が20%を占めている。また「JR（草江駅）」についても、主に利用しているのは「県外利用者」（6%）の方である。

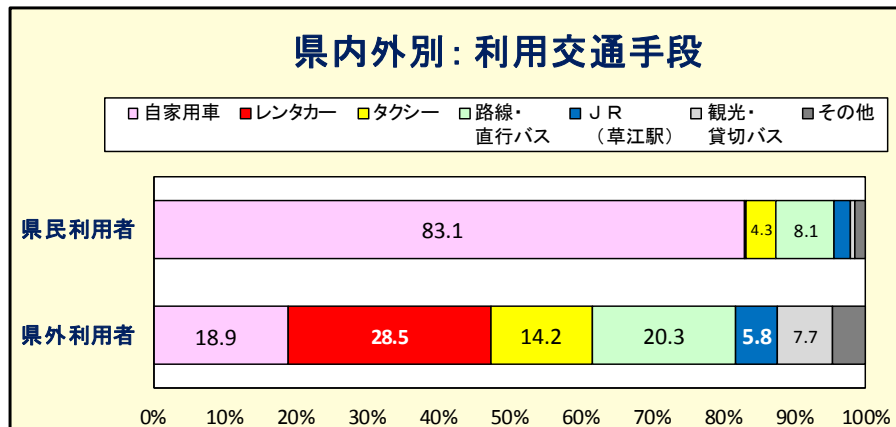
男女県内外別・利用交通手段

		自家用車	レンタカー	タクシー	路線・直行バス	JR (草江駅)	観光・貸切バス	その他	(無回答)	回答合計
男性：県民利用者	n	532	1	30	53	12	4	11	(1)	643
	%	82.7	0.2	4.7	8.2	1.9	0.6	1.7	-	100.0
男性：県外利用者	n	126	228	129	158	51	40	32	(2)	764
	%	16.5	29.8	16.9	20.7	6.7	5.2	4.2	-	100.0
女性：県民利用者	n	423	1	20	40	15	2	6	(0)	507
	%	83.4	0.2	3.9	7.9	3.0	0.4	1.2	-	100.0
女性：県外利用者	n	91	100	33	76	16	48	20	(0)	384
	%	23.7	26.0	8.6	19.8	4.2	12.5	5.2	-	100.0
男性利用者	n	701	246	169	225	64	52	51	(3)	1,508
	%	46.5	16.3	11.2	14.9	4.2	3.4	3.4	-	100.0
女性利用者	n	554	110	60	129	32	58	26	(0)	969
	%	57.2	11.4	6.2	13.3	3.3	6.0	2.7	-	100.0
県民利用者	n	965	2	50	94	27	6	17	(1)	1,161
	%	83.1	0.2	4.3	8.1	2.3	0.5	1.5	-	100.0
県外利用者	n	219	330	164	235	67	89	53	(2)	1,157
	%	18.9	28.5	14.2	20.3	5.8	7.7	4.6	-	100.0

※上段の表は、住所・性別についてどちらかでも無回答のサンプルは含まれていない。

※下段の表は、住所もしくは性別について無回答のサンプルは含まれていない。

※乗り合いタクシーは回答が少なかったため、ここではタクシーに合算している。



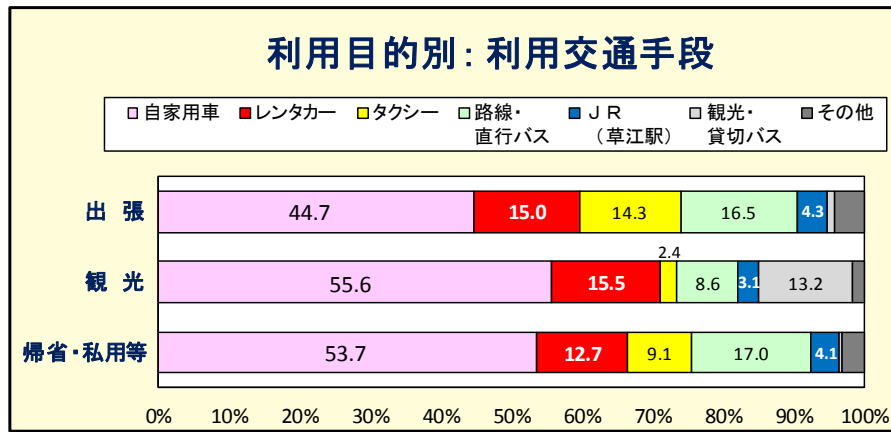
県内外利用者別に見たのが、下表。

「観光・貸切バス」利用は、当然のことながら「観光」利用者に多く、「観光」利用者に限れば1割を超えている（13%）。

利用目的別・利用交通手段

		自家用車	レンタカー	タクシー	路線・直行バス	JR (草江駅)	観光・貸切バス	その他	(無回答)	回答合計
出張	n	530	178	170	196	51	13	49	(2)	1,187
	%	44.7	15.0	14.3	16.5	4.3	1.1	4.1	-	100.0
観光	n	435	121	19	67	24	103	13	(1)	782
	%	55.6	15.5	2.4	8.6	3.1	13.2	1.7	-	100.0
帰省・私用等	n	329	78	56	104	25	2	19	(0)	613
	%	53.7	12.7	9.1	17.0	4.1	0.3	3.1	-	100.0

※「乗合タクシー」は回答が少なかったため、ここでは「タクシー」に合算している。  
 ※利用目的について無回答のサンプルは含まれていない。



年代別にみたのが、下表。

60歳以上の高齢者においても「自家用車」利用が多いことに変わりはなく、公共交通の利用割合についても、年代による違いはそれほどない。

年代別：利用交通手段

		自家用車	レンタカー	タクシー	路線・直行バス	JR (草江駅)	観光・貸切バス	その他	(無回答)	回答合計
0～19歳	n	29	3	0	8	3	1	0	(1)	44
	%	65.9	6.8	0.0	18.2	6.8	2.3	0.0	-	100.0
20歳代	n	170	39	22	39	24	12	8	(0)	314
	%	54.1	12.4	7.0	12.4	7.6	3.8	2.5	-	100.0
30歳代	n	175	79	26	49	13	8	12	(0)	362
	%	48.3	21.8	7.2	13.5	3.6	2.2	3.3	-	100.0
40歳代	n	215	76	55	84	17	7	17	(0)	471
	%	45.6	16.1	11.7	17.8	3.6	1.5	3.6	-	100.0
50歳代	n	281	92	75	95	22	23	22	(2)	610
	%	46.1	15.1	12.3	15.6	3.6	3.8	3.6	-	100.0
60歳以上	n	382	70	50	76	18	59	18	(0)	673
	%	56.8	10.4	7.4	11.3	2.7	8.8	2.7	-	100.0

※「乗合タクシー」は回答が少なかったため、ここでは「タクシー」に合算している。  
 ※年代について無回答のサンプルは含まれていない。

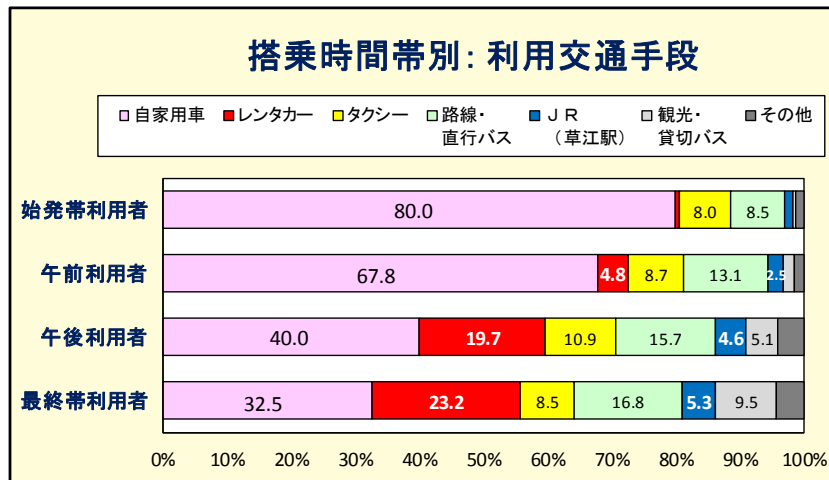
搭乗時間帯別にみたのが、下表。

「自家用車」利用は、時間帯が早いほど利用割合が高く、午後になると利用比率が低くなる（「自家用車」と「レンタカー」を合算してみても、同様の傾向）。逆にバス・電車の利用は、午後の方が利用割合が高くなっている。

搭乗時間帯別・利用交通手段

		自家用車	レンタカー	タクシー	路線・直行バス	JR (草江駅)	観光・貸切バス	その他	(無回答)	回答合計
始発帯利用者	n	300	2	30	32	5	1	5	(0)	375
	%	80.0	0.5	8.0	8.5	1.3	0.3	1.3	-	100.0
午前利用者	n	351	25	45	68	13	9	7	(1)	518
	%	67.8	4.8	8.7	13.1	2.5	1.7	1.4	-	100.0
午後利用者	n	483	237	132	189	56	61	48	(1)	1,206
	%	40.0	19.7	10.9	15.7	4.6	5.1	4.0	-	100.0
最終帯利用者	n	161	115	42	83	26	47	21	(1)	495
	%	32.5	23.2	8.5	16.8	5.3	9.5	4.2	-	100.0

※「乗合タクシー」は回答が少なかったため、ここでは「タクシー」に合算している。  
 ※搭乗便について無回答のサンプルは含まれていない。



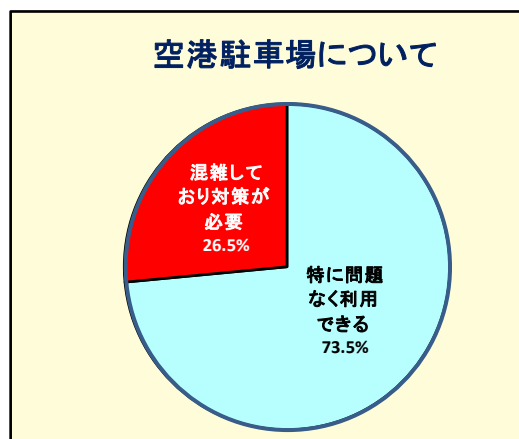
## 7. 空港駐車場について

### (1) 混雑問題

空港駐車場について問題があるか尋ねた。回答者を実際に駐車場利用に関わっている者に限定するため、前出の「利用交通手段」の質問時に「自家用車」と回答した者に限り回答を求めた。その結果が下表。27%の「自家用車」利用者が、「混雑しており対策が必要」と回答した。

	n	%
特に問題なく利用できる	929	73.5
混雑しており対策が必要	335	26.5
(無回答)	(36)	-
回答合計	1,264	100.0

※ 交通手段が「自家用車」の回答者が対象



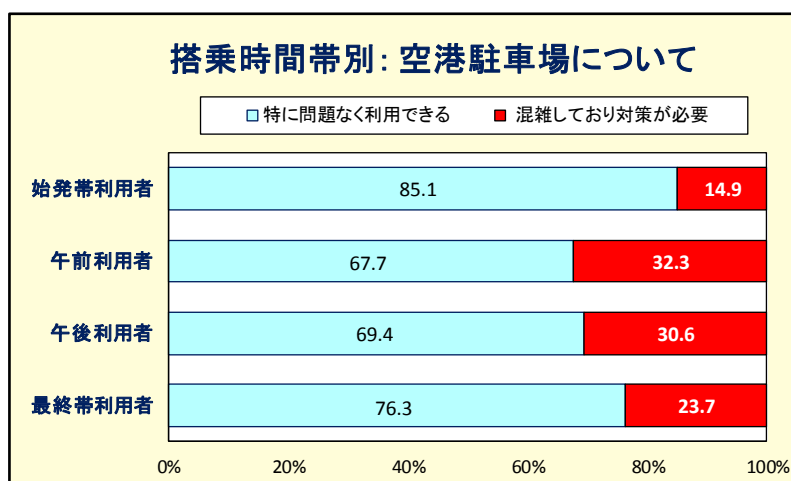
この回答を搭乗時間帯別にみると（右表）、「始発帯利用者」においてはあまり問題とみていないが、「午前利用者」以降から「混雑しており対策が必要」と回答しはじめている。「始発帯利用者」が駐車する時間帯までは、まだ駐車場が比較的空いているのだろう。しかし午前中から、既に混雑が始まるようである。

搭乗時間帯別・空港駐車場について

		特に問題なく利用できる	混雑しており対策が必要	(無回答)	回答合計
始発帯利用者	n	251	44	(5)	295
	%	85.1	14.9	-	100.0
午前利用者	n	231	110	(10)	341
	%	67.7	32.3	-	100.0
午後利用者	n	324	143	(16)	467
	%	69.4	30.6	-	100.0
最終帯利用者	n	119	37	(5)	156
	%	76.3	23.7	-	100.0

※ 交通手段が「自家用車」の回答者が対象

※ 搭乗便について無回答のサンプルは含まれていない。



なお、前章でみたように利用交通手段としての「自家用車」利用は圧倒的に「県民利用者」に多いことから、今回の質問の対象者は県民利用者が中心となっている。しかし「県外利用者」からの回答も一定程度含まれていることから、ここで県内外利用者別に回答をみておくと、下表のようになっている。

「混雑しており対策が必要」としている「県外利用者」は少なく、「県民利用者」つまり、地元の利用者の方が強くそう感じている。

県内外別・空港駐車場について

		特に問題なく利用できる	混雑しており対策が必要	(無回答)	回答合計
県民利用者	n	686	265	(14)	951
	%	72.1	27.9	-	100.0
県外利用者	n	162	40	(17)	202
	%	80.2	19.8	-	100.0

※ 交通手段が「自家用車」の回答者が対象  
 ※住所について無回答のサンプルは含まれていない。

ちなみに、「県民利用者」のうち「宇部市民利用者」に限って集計すると、下表のように、3割(30%)が対策が必要と回答している。

空港駐車場について【宇部市民】

	n	%
特に問題なく利用できる	198	69.7
混雑しており対策が必要	86	30.3
(無回答)	(4)	-
回答合計	284	100.0

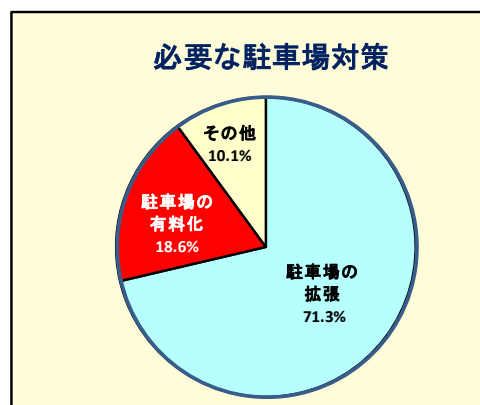
※ 交通手段が「自家用車」の回答者が対象

## (2) 必要な駐車場対策

前問で「混雑しており対策が必要」と回答した者に、必要な駐車場対策を尋ねたところ、下表のようになった。「駐車場の有料化」との回答は19%にとどまり、「駐車場の拡張」が71%を占めた。

駐車場対策	n	%
駐車場の拡張	234	71.3
駐車場の有料化	61	18.6
その他	33	10.1
(無回答)	(7)	-
回答合計	328	100.0

※ 交通手段が「自家用車」の回答者で、空港駐車場について「混雑しており対策が必要」と回答した者が対象



なお、「その他」の回答が10%を占め、比較的多かったが、その内容をみると下左表のようになっている。趣旨としては、拡張や有料化よりも空港非利用者が駐車したり車を放置していることが混雑の原因であり、その対策が必要との意見が多かったようである。それ以外では、「空」区画への誘導（広くて、空き区画を探すのが大変）を必要な駐車場対策とする意見もみられた。

これら「その他」回答を一部導入して括ると、下右表のようになる。

必要な駐車場対策（「その他」の内訳つき）

駐車場対策	n	%
駐車場の拡張	234	71.3
駐車場の有料化	61	18.6
その他(空港利用者以外の者の駐車が多い)	11	3.4
その他(「空」のある区画の案内・表示)	8	2.4
その他(空港利用者のみ無料にする)	6	1.8
その他(送迎スペース・乗降車場の確保・拡張)	5	1.5
その他(長期駐車車両の排除)	1	0.3
その他(駐車マナーの改善)	1	0.3
その他(多方面への公共交通の接続)	1	0.3
(無回答)	(7)	-
回答合計	328	100.0

※ 交通手段が「自家用車」の回答者で、空港駐車場について「混雑しており対策が必要」と回答した者が対象

必要な駐車場対策（「その他」を一部導入）

駐車場対策	n	%
駐車場の拡張	234	71.3
駐車場の有料化	61	18.6
空港非利用者等の駐車対策	18	5.5
「空」区画への誘導方式改善	8	2.4
その他	7	2.1
(無回答)	(7)	-
回答合計	328	100.0

※ 交通手段が「自家用車」の回答者で、空港駐車場について「混雑しており対策が必要」と回答した者が対象

これを県内外利用者別に見たのが、下表。

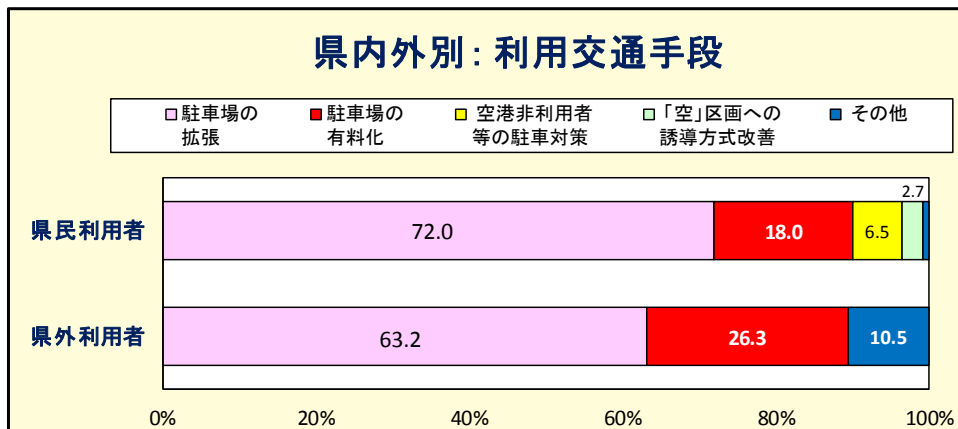
「駐車場の有料化」という対策を回答したのは「県外利用者」に多く、「県民利用者」では有料化以外の対策を志向する傾向が強い。

また、「その他」回答として「空港非利用者等の駐車対策」や「空区画への誘導方式改善」といった趣旨のことを記入したのは、すべて「県民利用者」であった。宇部市民利用者に限れば、8%が空港非利用者駐車問題を提起している。

県内外別・必要な駐車場対策

		駐車場の 拡張	駐車場の 有料化	空港非利用者 等の駐車対策	「空」区画への 誘導方式改善	その他	(無回答)	回答合計
県民利用者	n	188	47	17	7	2	(4)	261
	%	72.0	18.0	6.5	2.7	0.8	-	100.0
宇部市民利用者	n	61	16	7	0	2	(0)	86
	%	70.9	18.6	8.1	0.0	2.3	-	100.0
県外利用者	n	24	10	0	0	4	(2)	38
	%	63.2	26.3	0.0	0.0	10.5	-	100.0

※ 交通手段が「自家用車」の回答者で、空港駐車場について、「混雑しており対策が必要」と回答した者が対象





### (3) 駐車場有料化の際の料金

「駐車場の有料化」と回答した者に、その有料化料金（1日あたり何円以内とするか）を尋ねた。その結果は下表の通り。回答は金額で記してもらったが、表では金額レベル別にカテゴリー化している。「301～500円」との回答が、47%と半数近くを占め、最も多かった。一方で「801～1,000円」との回答も、3割以上（32%）あった。

また、カテゴリー化せず、そのまま回答金額の平均値を求めると、625円となった。

駐車場有料化料金

	n	%
200円以下	4	7.5
201～300円	5	9.4
301～500円	25	47.2
501～800円	2	3.8
801～1,000円	17	32.1
1,001円以上	0	0.0
(無回答)	(8)	-
回答合計	53	100.0
駐車場有料化料金平均値		625円

※ 交通手段が「自家用車」の回答者で、駐車場が「混雑しており対策が必要」と回答し、その手段として「駐車場の有料化が必要」と回答した者が対象

この有料化の際の料金を県内外利用者別にみると、「県外利用者」においては、「801～1,000円」の回答が7割以上（71%）を占め、平均値も857円と高くなっている（ただし対象サンプル数が少ないことに注意）。一方「県民利用者」においては平均が580円に留まっている。県民利用者は、駐車場対策として有料化が必要だとしても、その料金自体については安いことが望まれているようだ。

駐車場有料化料金 【県民利用者】

	n	%
200円以下	4	9.5
201～300円	4	9.5
301～500円	22	52.4
501～800円	2	4.8
801～1,000円	10	23.8
1,001円以上	0	0.0
(無回答)	(5)	-
回答合計	42	100.0
駐車場有料化料金平均値		580円

※ 交通手段が「自家用車」の回答者で、駐車場が混雑しており対策が必要と回答し、その手段として「駐車場の有料化が必要」と回答した者が対象

駐車場有料化料金 【県外利用者】

	n	%
200円以下	0	0.0
201～300円	0	0.0
301～500円	2	28.6
501～800円	0	0.0
801～1,000円	5	71.4
1,001円以上	0	0.0
(無回答)	(3)	-
回答合計	7	100.0
駐車場有料化料金平均値		857円

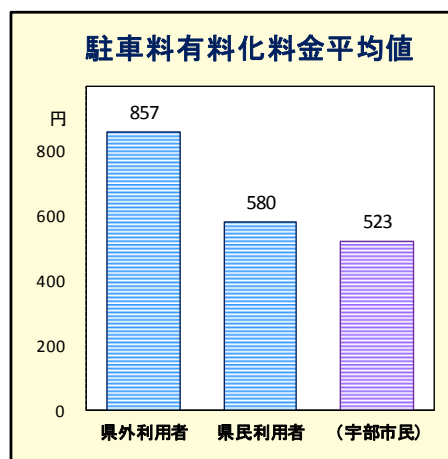
※ 交通手段が「自家用車」の回答者で、駐車場が混雑しており対策が必要と回答し、その手段として「駐車場の有料化が必要」と回答した者が対象

地元の宇部市民利用者においては、この傾向がさらに強く、200円以下との回答が20%を占め、平均値は523円となっている。あくまで空港非利用者の駐車（これが原因で混雑している）対策としての有料化であり、無料でさえなければ効果があるので、金額自体はなるべく安く、というような思いのものも含まれていると思われる。

駐車場有料化料金 【宇部市民】

	n	%
200円以下	3	20.0
201～300円	0	0.0
301～500円	9	60.0
501～800円	1	6.7
801～1,000円	2	13.3
1,001円以上	0	0.0
(無回答)	(3)	-
回答合計	15	100.0
駐車場有料化料金平均値		523円

※ 交通手段が「自家用車」の回答者で、駐車場が混雑しており対策が必要と回答し、その手段として「駐車場の有料化が必要」と回答した者が対象



< 調査票 >

郵便はがき

料金受取人払郵便

7 5 0 8 7 9 0

山口県下関市大和町1-14-1  
下関郵便局私書箱第16号

(バーコード)

下関局  
承認

差出有効期間  
2020年7月  
31日まで  
(切手不要)

一般財団法人 山口経済研究所 行

**【山口宇部空港利用者アンケートのお願い】**

今後の空港づくりの参考とするため、利用者アンケートの実施に御協力ください。ご回答いただいた方の中から抽選で10名様に山口県産品カタログギフトを贈呈いたします。

アンケートの回答と必要事項をご記入の上、空港内備え付けの回収BOX(2階搭乗待合室内と1階案内カウンター)に入れるか、郵便にてお送りください。

**平成30年10月12日(金)までにご発送ください。**  
当選発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

ご利用日： 9月 日  
ご利用便： ANA 便 JAL 便 SFJ 便  
ご利用頻度：年 回程度

アンケートにより知り得た個人情報は、商品発送のためにのみ使用し、他の目的へは使用しません。

**質問1** 今回、山口宇部空港まで利用された交通手段は  を1つ付けてください

① 自家用車 ② レンタカー ③ バス(路線・直行) ④ バス(観光・貸切)  
⑤ タクシー ⑥ 乗合タクシー ⑦ JR(草江駅) ⑧ その他( )

**質問2** 航空機の便数について(現在10往復)  を1つ付けてください

① 多い方がいい( 往復) ② 少ない方がいい( 往復)  
③ 適当である ④ その他( )

**質問3** 運航ダイヤ(出発時間帯)について

1 山口宇部空港発  を1つ付けてください

①始発便(現在7時40分)	②最終便(現在20時05分)
ア 早い方がいい( 時 分)	ア 早い方がいい( 時 分)
イ 適当である	イ 適当である
ウ 遅い方がいい( 時 分)	ウ 遅い方がいい( 時 分)

2 東京羽田空港発  を1つ付けてください

①始発便(現在7時20分)	②最終便(現在19時10分)
ア 早い方がいい( 時 分)	ア 早い方がいい( 時 分)
イ 適当である	イ 適当である
ウ 遅い方がいい( 時 分)	ウ 遅い方がいい( 時 分)

**質問4** 新たに就航を希望する路線 当てはまるものすべてに○を付けてください

1 国内線	2 国際線
① 札幌 ② 沖縄	① 台湾(台北) ② 中国(上海)
③ 名古屋 ④ 大阪	③ タイ(バンコク) ④ 香港
⑤ 成田 ⑥ その他( )	⑤ その他( )

**質問5** 今回の利用目的は何ですか  を1つ付けてください

① 出張 ② 観光 ③ 帰省 ④ その他( )

**質問6** 空港駐車場について(質問1で①を選んだ方のみ)  を1つ付けてください

① 特に問題なく利用できる ② 混雑しており対策が必要

**質問7** 必要な駐車場対策は(質問6で②を選んだ方のみ)  を1つ付けてください

① 駐車場の拡張 ② 駐車場の有料化(1日 円以内)  
③ その他( )

お住まいの都道府県及び市区町村名をお書きください  
※商品をご希望される方は、続けて住所・氏名もお書きください

住所：〒  
氏名：  
性別：① 男 ② 女 (○を付けてください)  
年齢：① 0～19歳 ② 20歳代 ③ 30歳代 ④ 40歳代 ⑤ 50歳代 ⑥ 60歳以上(同)

御協力ありがとうございました。